

空港コンセッションと地域経済活性化 に関する勉強会(第3回)

主催:松山空港利用促進協議会
後援:一般社団法人プラチナ構想ネットワーク

2026(令和8)年5月26日(火)



■開会 (14:00～14:10)

加藤 一誠
(慶應義塾大学 商学部 教授)

■講演 (14:10～15:10)

田中 三郎
(WAVEクルーズ総研 客員研究員)

■休憩 (15:10～15:20)

■講演 (15:20～16:20)

疋田 智
(非営利法人自転車活用推進研究会 理事)

■講演内容を踏まえたディスカッション (16:20～17:00)

■閉会 (17:00)

■名刺交換 (17:00～17:20)

第3回 松山空港勉強会

【これまでの経緯】

2025年3月

「松山空港将来構想」の策定

2025年8月

第1回勉強会 「国内線の現状」

2025年12月

第2回勉強会 「地域が育てる空港コンセッション」

○ 経験者からコンセッションを聴く

講演を参考にした施策とは？

1. わが国のコンセッション経験のストック

➡ 経験を踏まえ、新機軸を打ち出す必要はないか？

2. 松山空港+愛媛県としてのウリを考えました

(1) 海と空のコラボ

【講演後、皆さまにお考えいただきたいこと】

国内だけでなく、海外（バルセロナ、ベネチア）などの経験から、クルーズ客にお金をおとしてもらうための工夫は？

(2) 「サイクルツーリズム」

【講演後、皆さまにお考えいただきたいこと】

AT(アドベンチャーツーリズム)は今後の趨勢となると思われ
ますが、他にどのような工夫が考えられるか？

田中 三郎（たなか さぶろう）

所属：一般財団法人 みなと総合研究財団 クルーズ総合研究所

役職：客員研究員

少年の頃の「船乗りになり、世界に行きたい！」との憧れが叶い、日本郵船（株）に入社。入社後10年間程は貨物船、コンテナ船、原油タンカー等の航海士として海上勤務。その後、鳥羽商船高等専門学校教員や日本郵船横浜支店ポートキャプテン等の陸上勤務。

1988年、客船クイーンエリザベス二世号をホテルシップとして横浜港大さん橋ふ頭に長期係留させるプロジェクトに参画し客船人生をスタート。プロジェクト解散後は客船「飛鳥」の建造や客船運航会社「郵船クルーズ」の設立に関わり、日本のクルーズ黎明期を共にした。

2012年、郵船クルーズ退社後、客船運航会社設立準備事業等に従事。

2013年、国交省関連財団の「みなと総合研究財団」に所属し日本のクルーズ拡大に関わり、2017年のクルーズ総合研究所設立を経て、本年度よりフリーランスとしてクルーズ振興に取り組んでいる。

疋田 智（ひきた・さとし）

芝浦自転車研究所・所長、NPO自転車活用推進研究会理事。

1966年宮崎県生まれ。東京大学文学部卒。東京大学大学院工学系研究科都市工学科修了。博士（Ph.D.環境情報学）。

自宅から会社までの通勤に自転車を使う“自転車ツーキニスト”の草分けとして、自転車を活用した都市交通のあり方などを論ずる。文化学園大学非常勤講師、大東文化大学社会学研究所客員研究員。

パーソナリティを務めるTBSラジオ「ミラクル・サイクル・ライフ」（東京TBS日曜午後6時30分・大阪ABC月曜午後6時）は、2026年で14年目の長寿番組となった。

自転車関係の著作に『自転車ツーキニスト』（光文社知恵の森文庫）、『ものぐさ自転車の悦楽』（マガジンハウス）、『自転車生活の愉しみ』（朝日文庫）など多数。

YouTubeチャンネル『芝浦自転車研究所』<https://www.youtube.com/@shibajiken>